

団体名： 稲武商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価							
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めたとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導日数 年間102日 巡回指導実企業数 66事業所 1事業所 巡回指導延件数193件 （内非会員分 1件） 窓口指導実企業数 79事業所 （内非会員分 0事業所） 窓口指導延件数360件 （内非会員分 0件） 課題解決提案件数 20件 経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 110.6%)			課題解決提案件数 (達成度 200.0%)			積極的に各種補助金や支援施策の周知を行うとともに、事業者の実情に応じた活用提案を行った結果、経営計画策定や設備投資等に関する相談が増加し、指導件数の増加につながった。巡回・窓口相談指導により、小規模事業者の直面する課題解決を図るとともに、経営の安定及び改善に寄与した。また、会員の満足度や支援の必要性についても高い評価を得ている。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	巡回目標、巡回地域目標にそって巡回活動をし、全小規模事業者の巡回を1年に1回は行うよう努める。
				目標数値	500	実績数値	553	目標数値	10	実績数値	20	現行どおり					現行どおり		
				目標数値				目標数値				実施方法①					実施方法②		
記帳継続指導	個人事業主に対し、正しい記帳方法や、決算・確定申告の指導をすることによって、正しい税務申告と、記帳に対する個々の意識を高めることにより、試算表の数字等から経営状態の把握と向上を図ることを目的とする。	記帳の仕方や試算表の見方等の指導 2人、指導事業所数45件 指導日数 360日 指導回数 659回 記帳継続個別指導会を実施回数8回、参加者延45人	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数 (達成度 100.0%)			記帳継続指導事業所では、記帳継続事業への満足度が高く、記帳継続事業を通して、正しい税務申告や自店の経営状態を把握することができた。			総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	新規開業の事業所など、新たな記帳指導事業所の開拓に努め、記帳指導事業所数を増やす。		
				目標数値	45	実績数値	45	目標数値		実績数値						下げる		実施方法①	実施方法②
				目標数値				目標数値								実施方法①		実施方法②	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 （集団）8回 116人 （内経営革新（支部共催） 1回 3人） （個別）10回 87人 計 18回 203人	小規模事業者	指標	講習会受講者数 (達成度 109.7%)			税制改正（年取の壁）やCanvaを活用した情報発信戦略など、時宜に即した講習会を実施することで、小規模事業者のニーズに応じた知識習得の機会を提供することができた。また、個別指導を通じて税務等の理解促進が図られ、個々の知識の底上げにつながるとともに、小規模事業者の資質向上に寄与した。			総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	研修テーマを早期に決め、早くからPR活動を行う。事業者が必要な情報、知識を乗り遅れず取得し続けるよう努める。		
				目標数値	185	実績数値	203	目標数値		実績数値						上げる		実施方法①	実施方法②
				目標数値				目標数値								実施方法①		実施方法②	
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、青年部、女性部が主体となって各種セミナーを開催し、経営に必要な知識・技術の習得や資質の向上を図る。また、全国のリーダーが一同に会する全国大会に参加することで地域のリーダーとしての意識を高め新たな発見を促す。	事業承継セミナー ①第1回デジタル時代の事業承継：Canvaを活用した情報発信戦略 11名 ②第2回デジタル時代の事業承継：Canvaを活用した情報発信戦略 8名 全国大会参加 6名 資質向上セミナー 稲武を学ぶ 14名	小規模事業者	指標	参加者対象アンケートで満足と答えた割合 (達成度 125.0%)			講習会・研修会 受講者数 (達成度 111.4%)			青年部は事業承継者に対し、2回のセミナーを通して、進化するデジタル時代に向けた対応力を身に付けることが出来た。女性部では「稲武を学ぶ」をテーマに、地域内を巡り、自分たちの住む町の魅力や資源を改めて知る機会とした。これにより、今後の活動に活かせる気づきを得ることができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	多くの部員が、積極的に研修に参加するよう、参加募集を積極的に行う。
				目標数値	満足度 80%	実績数値	満足度 100%	目標数値	35	実績数値	39	現行どおり					現行どおり		
				目標数値				目標数値				実施方法①					実施方法②		
祭典事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の産業（地域資源、観光資源）PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	「マイタウンおいでん稲武」 10店舗 「稲武まつり」 8店舗 「ふれあいまつり」 10店舗 「雷み街道いなぶ」 8店舗	小規模事業者	指標	出店等参画事業所数 (達成度 120.0%)			各種祭典を開催することで集客が図られ、地域資源や観光資源のPRにつながるとともに、地域経済の活性化に寄与した。また、前年度と比較して出店希望者が増加するなど、事業者への関心や参加意欲の高まりが見られ、地域のにぎわい創出に貢献した。一方で、満足度アンケートの結果から一部に改善の余地が見られることから、今後は内容の充実や運営方法の見直しを図り、更なる満足度向上に取り組んでいく。			総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	目標①	目標②	積極的な参加を促し、早めに準備を進め、出店者のPRや売上アップを図る。		
				目標数値	30	実績数値	36	目標数値		実績数値						現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標数値				目標数値								現行どおり		現行どおり	

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 稲武商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価								
商店街・街づくり事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベント事業の実施等、地元業者の活性化を通して地域振興、街づくりに寄与することを目的とする。	商店街活性化計画をもとに、リサイクルビジネス「いなぶのお買い物配達便」の実施（R7年度実績）341件 1,517,897円 ・年末売出しイベントを実施（1/11）抽選本数970本 商店街活性化計画への参画事業者数 15店舗	小規模事業者	指標 商店街活性化計画への参画事業所数 (達成度 75.0 %)			指標 (達成度 %)			商店街活性化計画に基づき各種事業を実施した結果、地域住民の利便性向上と地元業者の利用促進につながり、地域経済の活性化に寄与した。特に「いなぶのお買い物配達便」においては固定利用者の増加が見られ、継続的な需要の確保につながっている。また、年末売出しイベントの実施により来街機会の創出と消費喚起が図られた。		総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	「いなぶのお買い物配達便」は独自財源で実施するため、地元商店の武器にできるよう、一層の周知と事業内容の検討が必要である。	○
				目標数値	20	実績数値	15	目標数値	実績数値					調査結果 事業者への 必要性	B	必要性	A	実施方法①		
産業活性化事業	それぞれの地域の特性を活かした地域資源の活用や、特産品の開発普及・PRなどを行い、また、地産地消の推進などを行うことにより、企業の発展及び地域産業の活性化に資することを目的とする。	ふるさとふれあいウォーキング406名 稲武産ギフト「どこでもいなぶ」、稲武特産品のPRのためギフト販売を実施 参加店舗 7店舗 利用者数 149名 道の駅どんぐり内チャレンジショップの活用 0店舗 展示会の参加：よたの特産品展3店舗、金山駅100→Ma1 13店舗 道の駅どんぐりイベント広場にて、どんぐり朝市開催（7月～3月7回開催）40店舗 新たな特産品開発数 5品目	小規模事業者	指標 稲武産ギフト利用者数 (達成度 149.0 %)			指標 (達成度 %)			事業実績の取り組みにより、事業者相互の連携も高まり、出展などで、直接消費者の声を聞くことで、新商品開発に着手する事業者も出てきており、それぞれの事業の活性化が期待できる。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	目標とした利用者数達成のため、利用促進を図る取り組みを行う。また、事業計画が、地域の活性化に寄与することを、直接関係しない事業者にも協力体制を頂けるよう努めていく。	○
				目標数値	100	実績数値	149	目標数値	実績数値					調査結果 事業者への 必要性	B	必要性	B	実施方法①		
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	ウォーキング大会（5/18）、稲武おいでんまつり（6/21）、いなぶまつり（8/15）、ラリー（11/7）出展 地区ごりつ大会主催（10/26） 花いっぱい事業（花の植替え作業）（1回） 寄せ植え講習会・正月花飾講習会・笑いヨガ講習会開催 民謡踊りの会と踊り練習会に参加	小規模事業者	指標 青年部・女性部員数 (達成度 97.7 %)			指標 (達成度 %)			活動を通して部員相互の交流を深めるとともに、青年部は「どこでもいなぶ」事業を中心に活動を展開し、特産品PRを積極的に行うことができた。また、女性部においては地域に花を増やすことを目的に寄せ植え講座や正月花飾り講座を行い、来訪客へのおもてなしを行った。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	新たな部員確保のため、部員一丸となって、加入勧奨活動を活発に行う。	
				目標数値	44	実績数値	43	目標数値	実績数値					調査結果 事業者への 必要性	A	必要性	A	実施方法①		
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・各種共済の普及推進 特定退職金共済（67件） 中小企業共済（296件） 愛知火災共済（59件） 商工災害生命共済（19件） 計441件 ・事業所健康診断の実施 33事業所、280人	小規模事業者	指標 共済加入件数（総数） (達成度 110.5 %)			指標 (達成度 %)			積極的に福利厚生の推進を図り、共済加入者の増加を図った。小規模事業者が自社の福利厚生の充実をはかり、企業の健全な発展をはかるための、一助となった。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	事業所の福利厚生の充実、退職金の備え、健康診断受診の必要性等の理解に重点を置く。	
				目標数値	399	実績数値	441	目標数値	実績数値					調査結果 事業者への 必要性	A	必要性	A	実施方法①		
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険料の年度更新及び従業員資格取得喪失等の手続を代行 32事業所 対象従業員104人 ・未加入事業所に加入勧奨1事業所	小規模事業者	指標 委託事業所数 (達成度 91.4 %)			指標 (達成度 %)			小規模事業者の事務処理の適正化及び負担軽減がはかれている。更に、委託事業主からは、社会保険をはじめ、従業員雇用に関する相談を受け、信頼を得ている。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	労働保険制度の理解を進める啓蒙活動を行う等、加入勧奨に力を入れていく必要がある。	
				目標数値	35	実績数値	32	目標数値	実績数値					調査結果 事業者への 必要性	A	必要性	A	実施方法①		
青色申告会・法人会	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国、地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、地域商工業の活性化に資することを目的とする。	○研修会：法人経営研修会参加者20名、税務研修会「税制改正について」参加者15名 法人会・青申告会会員数 76名	小規模事業者	指標 法人会・青色申告会会員数 (達成度 101.3 %)			指標 (達成度 %)			研修により正しい税知識の習得や税制改正の情報を得ることができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	どの団体も、会員数の減少が心配されている。新たな会員を増やすためにも、活動内容の検討を行っていく。	
				目標数値	75	実績数値	76	目標数値	実績数値					調査結果 事業者への 必要性	B	必要性	A	実施方法①		

団体名： 稲武商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考				
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等			
産業団体	稲武カード会や各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	・稲武カード会 ポイント3倍セール（8月・12月）、抽選会（1月）他） ・食品衛生協会稲武分会（講習会（6/20、検便（5月、10月）他） ・愛建連北設楽支部 ・木材組合 各種団体構成員数合計68名	小規模事業者	指標 構成員数（指導団体計） （達成度 90.7 %）			指標 （達成度 %）				それぞれの団体により、活動状況に差があり、構成員を増やすためにも活動が活発になるよう協力や指導を行い、構成員の意識が変わった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標① 下げる	目標②
				目標数値	75	実績数値	68	目標数値	実績数値	目標達成度				必要性		実施方法①			
調査・広報事業	当地区内の景気状況や需要動向を把握し、以後の施策や指導に役立てるとともに、回収したデータを分析・公表するとともに必要な諸施策を検討し、効果的かつ効率的な指導に繋げることを目的とする。	商店街活性化に向けて調査を実施。 ・消費者・来街者調査 有効回答62部（119部配布） ・事業者調査 有効回答32部（59部配布） ・観光客調査 回答数63部 愛知学院大学協田ゼミ学生による、事業主への聞き取り調査 16事業所で実施 IKO-Mai 出店時に需要動向調査を実施（12商品） 調査結果は、理事会等の会議で報告	小規模事業者	指標 地域経済動向調査実施企業数 （達成度 87.0 %）			指標 （達成度 %）			消費者・来街者、観光客及び事業者への各種調査を実施するとともに、大学生による聞き取り調査や出店時の需要動向調査を行うことで、地域の実態やニーズの把握が進んだ。これらの調査結果を理事会等で共有することで、商店街活性化に向けた施策検討や事業者への具体的な指導に繋がった。調査を踏まえ、今後の事業展開や商品開発、販路開拓に活用できる基礎データの蓄積が図られた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標① 現行どおり	目標②	アンケート回収率を上げ、今後の事業に活かすことが課題である。
				目標数値	100	実績数値	87	目標数値	実績数値				目標達成度		必要性				
												B	A		変更する		○		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。